

第4章 市の地理的、社会的特徴

第1節 地形

1 位置及び地勢

本市は、東経135度33分22秒7から135度36分32秒2、北緯34度42分19秒8から34度45分54秒4の間にあり、大阪平野のほぼ中央部、大阪湾に流れ込む淀川の左岸に位置し、面積は、12.73k㎡である。この淀川が右岸の摂津市との境となり、南及び西の二方面は大阪市と接し、また、東は門真市、北は寝屋川市と接し、両市との一部市境ではこれに沿うように古川が流れている。

市域は、おおむね淀川の沖積による平坦地で、旧淀川廃川地とこれにつづく淀川堤（OP8.9m）の地帯が高くなっているが、東南に至るに従って低くなっている。起伏は少なく、地層は地表から1m前後が土砂で、以深は砂層、粘土層、レキ層が不整合に重なっており、それ以深は洪積層となっている。

第2節 気候

温暖で雨の少ない「瀬戸内性気候」で、年平均気温は17度前後である。降水量は年平均1,200mm程度で、梅雨や台風シーズンに集中して降る傾向がある。

風の影響は比較的少なく、おおむね春、秋は北ないし北東から、夏、冬には西あるいは南西からの風が吹く割合が多い。

第3節 人口分布

1 常住人口

平成17年10月1日現在の市の人口は148,893人で、近年は漸減の傾向にあるが、人口密度は、一平方キロメートルあたり11,696人で、過密化が著しい。

2 昼間人口

平成12年国勢調査による昼間人口は155,882人で、昼間人口指数は102.5である。

本市を従業地・通学地として他市等から流入する人口は45,727人で、その内他府県か

らの流入は6,286人(13.7%)となっている。また、従業地・通学地へ流出する人口は41,602人であり、流出入超過人口は4,125人となっている。

3 外国人登録者数

平成17年12月31日現在の市の外国人登録人口は2,549人で、これを国籍別にみると、最も多い韓国・朝鮮の1,782人と次の中国451人を合わせると87.6%となり、以下、フィリピン65人、米国39人、ブラジル23人などとなっている。

第4節 道路の位置等

市の区域の道路環境を概観すると、主要道路が市域を5つのブロックに分けるような形で縦横に伸びている。そのため、主要道路にブロック内の路線が絡むという構造の道路網を形成している。

1 自動車専用道路

阪神高速道路株式会社が管理する阪神高速道路は、大阪市中央部の環状線から本市方面にも伸びており、府道から国道1号へ続き、京都方面への主要な道路となっている。

近畿自動車道は、北進すると中国自動車道と繋がり、南進すると阪和自動車道と直結しており、管理は西日本高速道路株式会社が行っている。

2 主な一般道路

主要道路には、国道1号、府道京都守口線が東西に、南北には国道163号及び479号、大阪中央環状線が整備され、大阪市内、京都府、奈良県、和歌山県の各方面を結ぶように伸びている。

3 自動車保有台数

平成18年4月現在、市内で約63,439台の自動車が保有されており、その内訳は、貨物用自動車11,152台、乗合用自動車46台、乗用自動車37,643台、特殊用途車412台、二輪車3,164台、三輪車1台、原動機付自転車11,021台である。

第5節 鉄道の位置等

1 鉄道

市域には、地下鉄（谷町線・今里筋線）の駅が始発駅を含め三駅と私鉄の駅が三駅あり、大阪市内や京都方面への輸送を担っている。

また、大阪中央環状線に沿って高架線路敷のある大阪高速鉄道（大阪モノレール）の大日駅があり、北は摂津市、吹田市方面、南は門真市へと伸びている。

第6節 主な施設等

1 高層建築物

市内の主な高層建築物は、概ね住居系で占められており、その他に企業の研究棟や学校などがある。

